

# 読書の町矢祭宣言



私たちは、先人から<sup>うけたきょうど</sup>享けた郷土・矢祭町を将来にわたって子々孫々に引き継ぐために、町民一人一人が郷土を愛し豊かな文化的教養を培い、書物に親しみ、問題解決を書物と相談する気風を育てることにある。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力、創造力を育みます。

家庭と地域に読書の輪を広げ、心豊かな人生を育む読書の町を目指し、ここに「読書の町矢祭」を宣言する。

## 記

- 1 わたしたちは、毎月第3日曜日を「矢祭読書の日」とし、読書の輪を広めます。
- 2 わたしたちは、乳幼児期から絵本を通し、本が身近に感じられるように取組みます。
- 3 わたしたちは、夢を持ってたくましく成長できるよう、朝の読書に取組みます。
- 4 わたしたちは、読書の楽しさ、大切さ、心の豊かさを実感できるように取組みます。
- 5 わたしたちは、本との出会いを大切に、笑顔あふれる読書の町を目指します。

令和4年1月10日

福 島 県 矢 祭 町